

防衛省による古仁屋港（須手地区）における 輸送・補給拠点の整備に係る住民説明会

議事概要（質疑応答）

令和8年1月18日（日）に、瀬戸内町主催で古仁屋港（須手地区）における輸送・補給拠点の整備に係る住民説明会を開催し、防衛省担当者による説明及び住民からの質疑・応答を行いました。

（1）日 時：令和8年1月18日（日）13:00～13:40

（2）会 場：瀬戸内町きゅら島交流館

（3）対 象：瀬戸内町民

（4）参加者：約50名

（5）質問者5名の主な質問、意見等

番号	質問・意見等	回答（防衛省）
1	<ul style="list-style-type: none">・新たな港湾施設が整備されるまでの間、輸送艇1隻は海上自衛隊奄美基地分遣隊に配備されるということか。・今後配備される輸送艇計4隻は、今般整備する新たな港湾施設に配備することになるのか。	<ul style="list-style-type: none">・令和8年度末に自衛隊海上輸送群隸下部隊である海上輸送隊1個部隊を、海上自衛隊奄美基地分遣隊の敷地内に配備する予定であるが、その時点では港湾施設が未完成であることから、完成するまでの間、古仁屋港内（船津東岸壁）に暫定的に係留する。・令和9年度までに計4隻の輸送艇を配備する予定であり、新たな港湾施設が完成次第、部隊を移駐する計画である。なお、令和9年度に配備する3隻の係留場所については、まだ決まっておらず、引き続き瀬戸内町などと調整する予定である。

2	<p>・現在、遊漁船や瀬渡し船が利用している桟橋（西側地区）が、埋め立て工事によって使用できなくなるのではないかという懸念している。代替措置が考慮されているのか。</p>	<p>・工事中も、既存の桟橋利用者に迷惑がかかるないように進める方針である。</p> <p>・特段利用制限を設ける予定はない。</p> <p>・工事関係の船舶の出入りが見込まれるので、適切に情報提供を行う</p>
	<p>・資料5頁で東側地区水深11mとされているが、実際にはそれほど深くないよう見えるため、浚渫工事を行うのか。</p> <p>・既存の護岸をかさ上げ・拡張するのか、またそれに伴う周辺住民や利用者への配慮についてどう考えているか。</p>	<p>・赤字点線で示したエリア（資料4頁）を浚渫する計画である。</p> <p>・工事用船舶の出入りが見込まれることから、情報共有を密にし、ご迷惑にならないよう配慮する。</p> <p>・工事実施に当たり、情報提供等を十分に行う。</p>
3	<p>・資料2頁では「後方支援」とされているが、現代戦において地理的な後方は存在しない。輸送部隊は攻撃の主要な標的となるため、古仁屋が攻撃される可能性が非常に高いと懸念している。</p> <p>2年前の町議会との会合で質問した際、「国が考えていることで、町は何も考えていない」という趣旨の返答があり、無責任だと感じた。有事の際の具体的な避難方法、食料確保、残された財産やペットの扱い、避難先について、町はどう考えているのか。</p>	<p>・貴重な意見に感謝。今回は港湾施設の整備についてご説明させていただいているところ、お尋ねの点についてこの場で回答することは困難であるが、南西地域における防衛体制の強化は喫緊の課題であり、今般の港湾施設整備の取組についても抑止力・対処力の向上に繋がるものと考えている。</p>
	<p>・住民の避難について何も決まっていないのに進めるのは無責任ではないか。（回答は求めない）</p>	<p>※意見のため無回答</p>
4	<p>・資料6頁について、施設完成後に寄港が計画されている護衛艦や輸送艦の乗員（100名以上）が古仁屋に上陸し、食事や買い物をすることはあるのか。</p>	<p>・海上自衛隊の護衛艦や輸送艦の停泊期間等にもよるが、乗員が上陸する可能性はある。</p>

5	<p>・建設される隊員宿舎に、どの程度の人数が住む予定か、大まかでも分かれば教えてほしい。</p> <p>背景として、住民が増えることによる地域インフラ(集会所規模等)への影響を懸念している。</p>	<p>・現時点では、宿舎に住む具体的な人数は確定しておらず、お答えが困難であることをご理解願いたい。</p> <p>・一方、町内に宿舎を整備する計画もあるため、今後も地域住民の方々にはお世話になることがあると思うので、ご理解・ご協力をお願いしたい。</p>
---	--	--